

Logistics Partner,
SANRITSU



平成29年3月期

中間報告書

平成28年4月1日～平成28年9月30日

証券コード:9366





代表取締役 社長執行役員

三井 康英

Contents

ご挨拶	P1
財務ハイライト	P2
セグメントの業績	P3
四半期連結財務諸表(要旨)	P5
新中期経営計画	P6
特集	P7
トピックス	P8
株式の状況	P9
会社概要	P10

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申しあげます。

ここに平成29年3月期第2四半期連結累計期間(平成28年4月1日～平成28年9月30日)の事業概況についてご報告申しあげます。

当第2四半期連結累計期間における日本の経済状況は、雇用・所得環境に改善がみられたものの、個人消費及び設備投資の低迷により景気回復は緩やかなものとなりました。世界経済は、中国及び新興国の成長鈍化及び地政学リスクの高まりを受け、力強さに欠ける状況が続きました。

物流業界におきましては、国内貨物は個人消費及び設備投資の低迷により消費関連貨物及び建設関連貨物を中心に減少いたしました。国際貨物はアジア及び北米向けの輸出入貨物を中心に低調な荷動きとなりました。

このような事業環境の中、当社は半導体製造装置及び前期より開始した通販貨物の取扱額が増加いたしました。顧客の事業構造改革による無線通信機器の取扱額減少を受け売上高は減少いたしました。利益面におきましては、売上高減少の影響及び一般管理費の増加により、営業利益は減少いたしました。

国内連結子会社におきましては、主要顧客の製品取扱額の減少に加え、その他顧客において前期に発生した特需の反動により、売上高、営業利益ともに減少いたしました。

中国連結子会社におきましては、前期5月に華南地区の子会社2社を譲渡した影響により、売上高は減少いたしました。赤字体質からの改善が進み、事業の収益力は向上いたしました。

米国連結子会社におきましては、工作機械のスチール梱包業務が軌道に乗り始めたことで、売上高、営業利益ともに増加いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高71億87百万円(前年同期比6.8%減)、営業利益2億18百万円(同32.7%減)、経常利益1億58百万円(同37.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益37百万円(同22.5%減)となりました。

なお、当期5月に公表いたしました中国華東地区の子会社の出資持分一部譲渡により、関係会社株式売却損90百万円を特別損失として計上しております。

株主の皆様には、より一層のご支援を賜りますようお願い申しあげます。

平成28年12月

コーポレートステートメント

地球をつつむ思いやり
ロジスティクスパートナー サンリツ

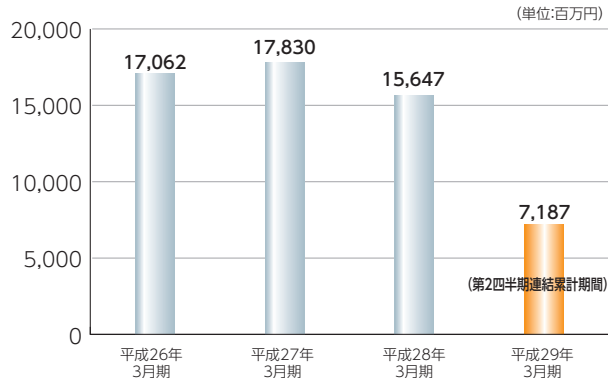
財務ハイライト

■ 連結

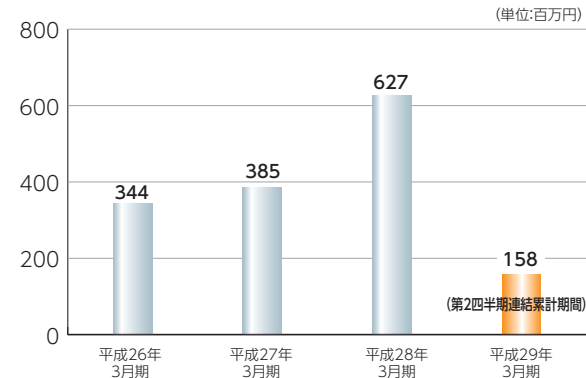
(単位:百万円 未満切捨)

決算期	平成26年 3月期	平成27年 3月期	平成28年 3月期	平成29年3月期 第2四半期連結累計期間
売上高	17,062	17,830	15,647	7,187
経常利益	344	385	627	158
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	108	126	305	37
純資産額	6,983	7,070	7,047	6,793

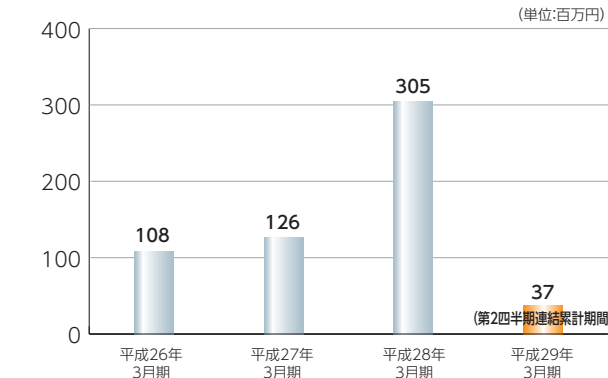
■ 売上高



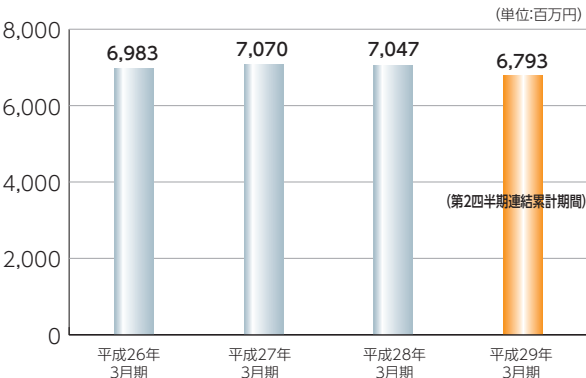
■ 経常利益



■ 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



■ 純資産額

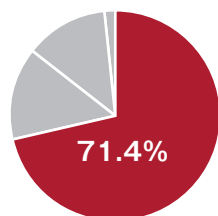
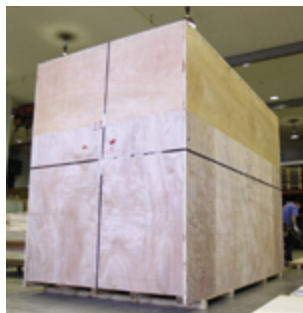


セグメントの業績

事業の種類別セグメント

梱包事業部門

電子・通信機器、硝子製品、工作機械、医療機器等の梱包及び木箱製造等を行っており、顧客のニーズに合わせた梱包仕様の提案をいたします。



前期5月に不採算拠点であった中国華南地区の子会社2社を譲渡した影響により、売上高は減少いたしました。セグメント利益は増加いたしました。

この結果、当該部門の業績は、売上高51億28百万円(前年同期比5.3%減)、セグメント利益4億53百万円(同6.7%増)となりました。

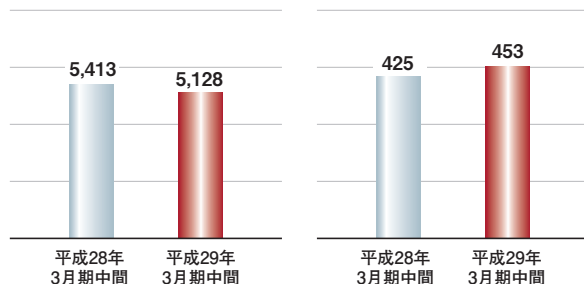
売上高 51億28百万円(前年同期比△5.3%)

セグメント利益 4億53百万円(前年同期比+6.7%)

(単位: 百万円)

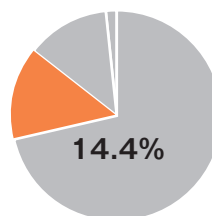
●売上高

●セグメント利益



運輸事業部門

電子・通信機器、硝子製品、工作機械及び医療機器等のトラック輸送を行っており、安全かつ低コストをモットーに全国各地に配送いたします。



無線通信機器の取扱額が減少した結果、売上高及びセグメント利益ともに減少いたしました。

この結果、当該部門の業績は、売上高10億37百万円(前年同期比13.6%減)、セグメント利益25百万円(同39.3%減)となりました。

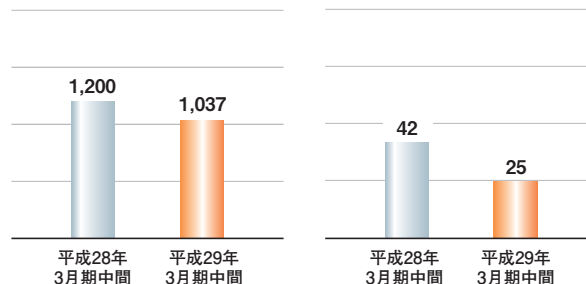
売上高 10億37百万円(前年同期比△13.6%)

セグメント利益 25百万円(前年同期比△39.3%)

(単位: 百万円)

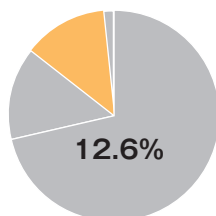
●売上高

●セグメント利益



倉庫事業部門

保管、入出庫及び賃貸を行っており、様々な流通加工に適した倉庫をご用意しております。



工作機械保管額の減少及び当期4月の事業所閉鎖の影響により、売上高及びセグメント利益ともに減少いたしました。

この結果、当該部門の業績は、売上高9億3百万円（前年同期比5.0%減）、セグメント利益1億76百万円（同8.4%減）となりました。

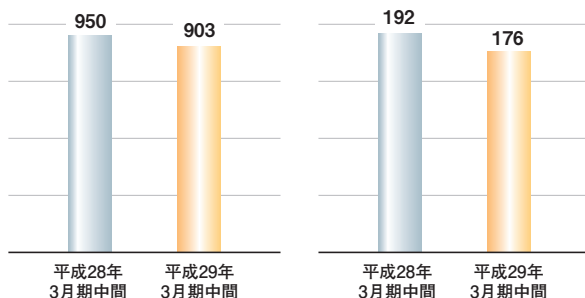
売上高 9億3百万円（前年同期比△5.0%）

セグメント利益 1億76百万円（前年同期比△8.4%）

（単位：百万円）

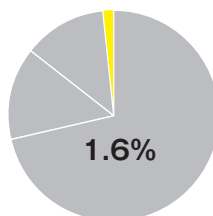
●売上高

●セグメント利益



賃貸ビル事業部門

サンリツ本社ビルにおいて、事務所及び共同住宅の賃貸を行っております。



フリーレント期間の設定及び修繕費用等の発生により、売上高及びセグメント利益ともに減少いたしました。

この結果、当該部門の業績は、売上高1億18百万円（前年同期比19.5%減）、セグメント利益21百万円（同64.7%減）となりました。

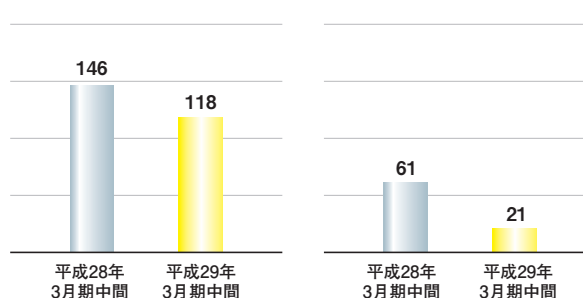
売上高 1億18百万円（前年同期比△19.5%）

セグメント利益 21百万円（前年同期比△64.7%）

（単位：百万円）

●売上高

●セグメント利益



四半期連結財務諸表(要旨)

四半期連結貸借対照表 (単位:百万円 未満切捨)		
科 目	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
【資産の部】		
流動資産	5,830	5,102
固定資産	14,439	14,213
有形固定資産	12,596	12,380
無形固定資産	134	127
投資その他の資産	1,708	1,705
I 資産合計	20,269	19,316
【負債の部】		
流動負債	4,167	3,806
固定負債	9,055	8,716
II 負債合計	13,222	12,522
【純資産の部】		
株主資本	7,115	6,833
その他の包括利益累計額	△167	△134
非支配株主持分	99	94
純資産合計	7,047	6,793
負債純資産合計	20,269	19,316

ポイント I

当第2四半期連結会計期間末の財政状況は、総資産193億16百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億53百万円の減少となりました。流動資産につきましては、51億2百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億27百万円減少いたしました。固定資産につきましては、142億13百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億25百万円減少いたしました。

ポイント II

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、125億22百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億99百万円減少いたしました。流動負債につきましては、38億6百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億60百万円減少いたしました。固定負債につきましては、87億16百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億39百万円減少いたしました。

ポイント III

営業活動の結果得られた資金は、2億83百万円(前年同期は4億54百万円の収入)となりました。これは主に、減価償却費3億68百万円、関係会社株式売却損90百万円、売上債権の減少1億73百万円、仕入債務の減少1億12百万円及び法人税等の支払額1億87百万円によるものであります。

四半期連結損益計算書 (単位:百万円 未満切捨)		
科 目	前第2四半期連結累計期間 自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日	当第2四半期連結累計期間 自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日
売上高	7,711	7,187
売上原価	6,238	5,827
売上総利益	1,472	1,359
販売費及び一般管理費	1,148	1,141
営業利益	324	218
営業外収益	13	16
営業外費用	85	76
経常利益	252	158
特別利益	0	0
特別損失	28	94
税金等調整前四半期純利益	224	64
法人税、住民税及び事業税	132	17
法人税等調整額	42	9
四半期純利益	50	37
非支配株主に帰属する四半期純利益又は四半期純損失(△)	1	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	48	37

四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (単位:百万円 未満切捨)		
科 目	前第2四半期連結累計期間 自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日	当第2四半期連結累計期間 自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日
III 営業活動によるキャッシュ・フロー	454	283
投資活動によるキャッシュ・フロー	△273	△125
財務活動によるキャッシュ・フロー	△397	△558
現金及び現金同等物に係る換算差額	7	△33
現金及び現金同等物の増減額	△208	△433
現金及び現金同等物の期首残高	2,477	2,384
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,268	1,951

新中期経営計画の概要について

当社は新たに平成30年3月期～平成32年3月期の中期経営計画を策定いたしました。
新たな目標達成に向けて全社一丸となって取り組んでまいりますので、株主の皆様におかれましては、これからも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

ビジョン

「オペレーションからソリューションへ」

事業戦略

●国内事業

精密機械／医療機器

- ・ノンアセット型新拠点を開設
- ・「立地」×「ソリューション営業」×「庫内オペレーションの高度化」で他社と差別化

工作機械

- ・現キャパシティで既存顧客の取引深耕により収益を維持

●海外事業

- ・顧客に合わせたカスタムメイドの国際輸送ネットワーク構築
- ・当社の梱包技術で事業拡大

投資と配当方針

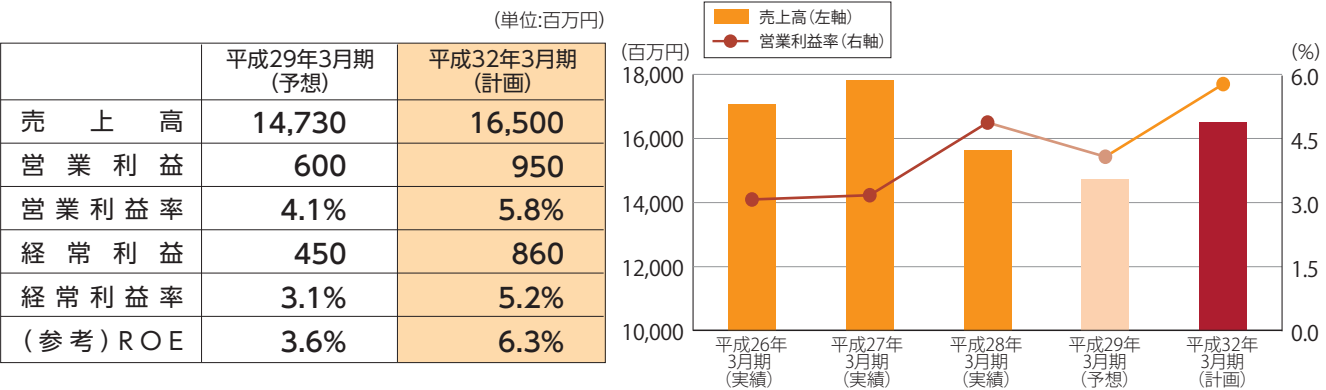
●設備投資 3年総額10億円

- 国内：新拠点1億円、省力化を目的としたIT投資6億円
- 全体：更新投資3億円

●配当方針 配当性向30%の維持

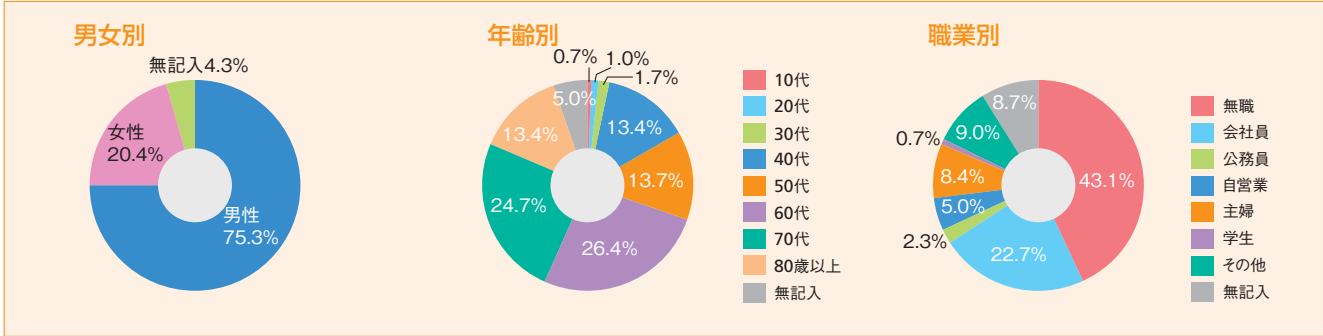
- ・収益に応じた株主への利益還元を経営上の最重要課題の一つとして認識
- ・財務体質の強化と今後の国内外における事業展開等を総合的に勘案しつつ、積極的に配当を実施することを基本方針とする

数値目標

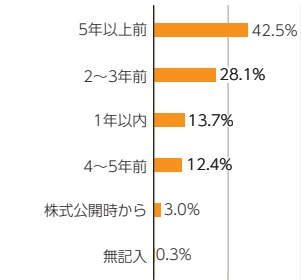


株主アンケート結果報告

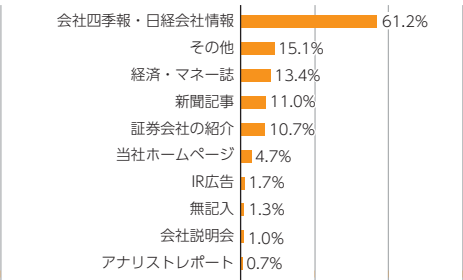
前号平成28年3月期報告書においてお願いしましたアンケートは、全株主の9.8%に当たる299名の株主様からご回答を頂きました。ご協力頂いた皆様には心よりお礼を申し上げますとともに、アンケート集計結果について下記の通りご報告申し上げます。皆様から頂戴した貴重なお意見を活かし、今後更なるIR活動の充実に努めてまいります。



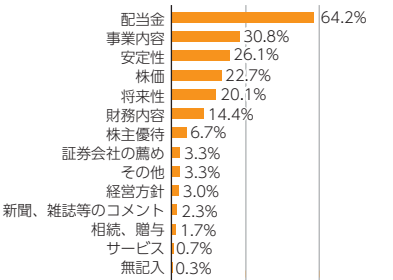
Q1 当社株式にいつ頃投資されましたか？



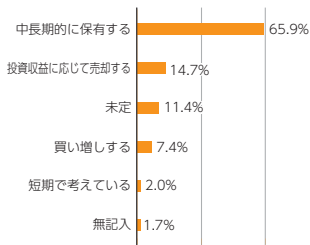
Q2 当社株式の購入のきっかけとなった情報源は何でしたか？（複数回答可）



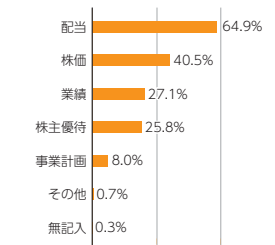
Q3 当社株式に投資された理由をお聞かせください（複数回答可）



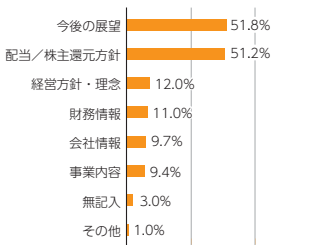
Q4 当社株式の今後の保有方針をお聞かせください



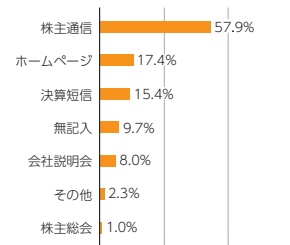
Q5 今後の投資方針を決定するための判断材料は何でしょうか？



Q6 当社についてもっとお知りになりたい情報は何でしょうか？



Q7 今後のIR活動として何を充実させてほしいですか？



日本パッケージングコンテスト2016 ジャパンスター賞受賞！

(社)日本包装技術協会が主催する「日本パッケージングコンテスト2016」において、当社開発の「検品工程低減・RFIDタグを利用したリターナブルBox」がジャパンスター賞の中でも最高賞の一つである「経済産業省産業技術環境局長賞」を受賞いたしました。

当社が受賞した「経済産業省産業技術環境局長賞」は、容器包装・包装資材として優れている中で、容器包装廃棄物の排出抑制のための3Rの取組みがなされ、環境適合化への努力が最も優れている作品を選定するものです。

製品開発の経緯

当社顧客の医療機器メーカーにて、病院・診療所への医療機器の出荷～返却の過程で、年間50万ケースという膨大な量の段ボールボックスを消費し、また返却時の使用品・未使用品の検品工数にも多くの時間が掛かっていました。

これを改善すべく、ワンウェイの段ボールボックスをリターナブルボックスへと変更することを提案し、以下3点を実現いたしました。

- 環境負荷の低減
- 段ボール調達費用の低減
- 出荷～返品工数の低減

製品・機能の主な特長

①リターナブルボックス

生産過程でのCO₂排出量が少ないことに加え、耐久性・耐水性に優れ、組立てや折畳みが容易、軽量などの特長があり、環境性、経済性、実用性において既存の段ボールよりも優れています。

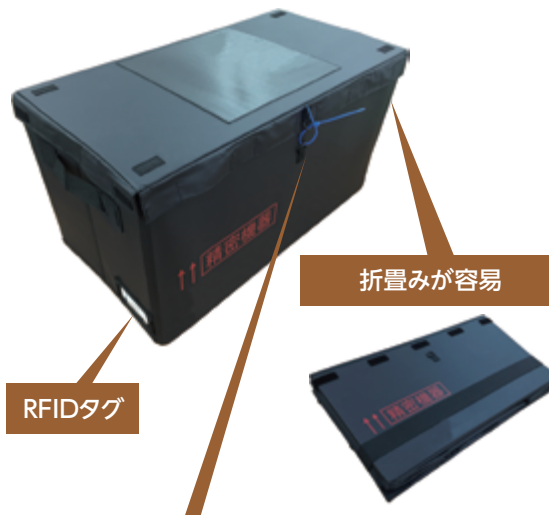
②2色の結束バンド

封函用の結束バンドを使用品と未使用品とで色分けすることで、返却時の検品・棚付工数を改善いたしました。

③RFIDタグ

RFIDというバーコードよりもはるかに読取りが容易な無線ICチップをボックスへ貼付することで、資産管理工数の低減や出荷先のトレーサビリティを可能としました。

●グッドパッケージング賞の構成



返却時には結束バンドを色分け



使用品-赤



未使用品-青

株式の状況 (平成28年9月30日現在)

株式の状況

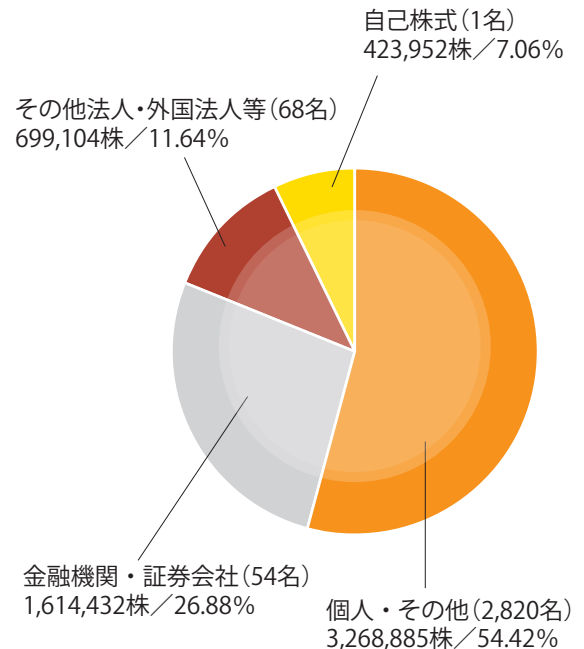
発行可能株式総数 24,000,000株
発行済株式の総数 6,006,373株 (自己株式423,952株を含む。)
株主数 2,943名

大株主

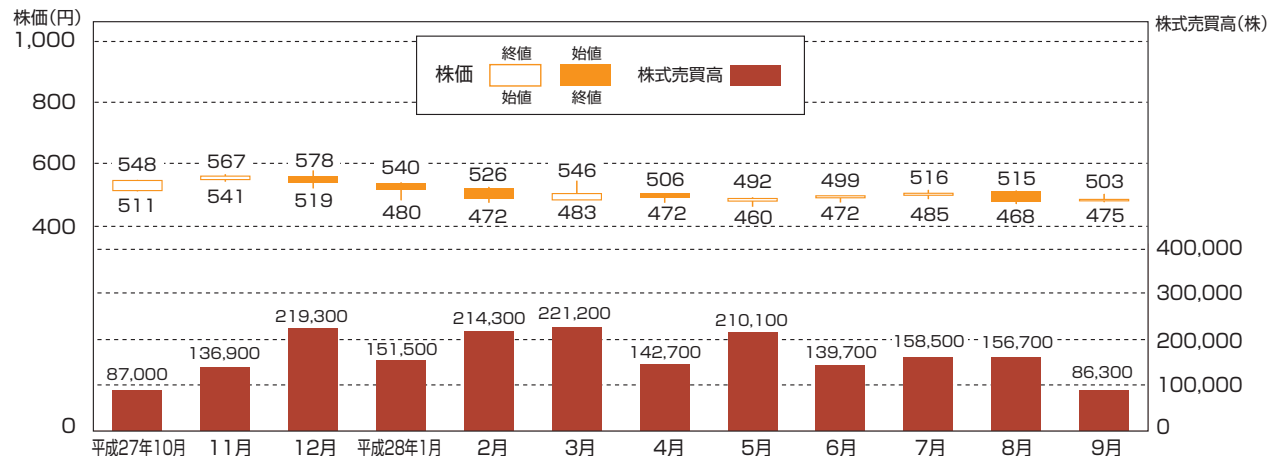
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)	354	6.35
サンリツ共栄会	347	6.22
(株)三井住友銀行	183	3.29
三井住友信託銀行(株)	181	3.25
(株)りそな銀行	169	3.04
野島岳史	143	2.57
日本建設(株)	134	2.41
(株)三菱東京UFJ銀行	132	2.37
(株)みずほ銀行	111	2.00
サンリツ従業員持株会	97	1.74

(注) 1. 当社は、自己株式423,952株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。
また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。
2. 上記の持株数のうち、信託業務に係る株式数は、次のとおりであります。
日本トラスティ・サービス信託銀行(株) 354千株

株式分布状況



株価・株式売買高の推移



■ 当社

商 号 株式会社サンリツ
(英文表示) (SANRITSU CORPORATION)
本 社 東京都港区港南二丁目12番32号
設 立 昭和23(1948)年3月
資 本 金 2,523,866千円
従 業 員 数 連結:391名 単体:297名
事 業 内 容 梱包事業、運輸事業、倉庫事業、賃貸ビル事業

■ 主な事業所

本 社	東京都港区
白 石 事 業 所	宮城県白石市
郡 山 事 業 所	福島県郡山市
埼 玉 事 業 所	埼玉県児玉郡
筑 波 事 業 所	茨城県稲敷郡
成田第一事業所	千葉県成田市
成田第二事業所	千葉県成田市
上 田 事 業 所	長野県上田市
上田センター	長野県上田市
富山センター	富山県富山市
豊田センター	東京都日野市
八 王 子 事 業 所	東京都八王子市
八王子センター	東京都八王子市
村山センター	東京都武蔵村山市
日野センター	東京都日野市
横 浜 事 業 所	神奈川県横浜市鶴見区
京 浜 事 業 所	神奈川県横浜市神奈川区
厚 木 事 業 所	神奈川県厚木市
山 梨 事 業 所	山梨県中巨摩郡

■ 連結子会社

会社名	資本金 (単位 未満切捨)	議決権 比率 (%)	主な事業内容
千葉三立梱包運輸(株)	25百万円	80	硝子及び一般貨物の包装梱包、工場内荷役作業、貨物自動車運送事業、倉庫業並びに包装資材の販売
山立国際貨運代理(上海)有限公司	10,000千CNY	100	国際貨運代理業
張家港保税区新興南国際貿易有限公司	2,483千CNY	100	貿易
SANRITSU LOGISTICS AMERICA Inc.	800千USD	100	国際貨物の包装梱包、自動車運送事業、倉庫事業

CNY…中国人民币 USD…米国ドル
(注)当社の連結子会社は、上記の4社であり、持分法適用会社はありません。

■ 役員

代 表 取 締 役 会 長	三 浦 正 英
代 表 取 締 役 社 長 執 行 役 員	三 浦 康 英
取 締 役 専 務 執 行 役 員	平 輪 貢
取 締 役 常 務 執 行 役 員	田 中 光 晴
取 締 役 執 行 役 員	尾留川 一 仁
取 締 役 執 行 役 員	松 尾 学
取 締 役 監 査 等 委 員	篠 田 易 男
取 締 役 監 査 等 委 員	山 崎 公 敬
取 締 役 監 査 等 委 員	稲 永 誠

(注)篠田易男、稲永誠は、社外取締役であります。



株式会社 サンリツ

〒108-0075 東京都港区港南二丁目12番32号

TEL.03-3471-0011 FAX.03-3471-1464

<http://www.srt.co.jp/>

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月開催
基準日 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当金 毎年3月31日
中間配当金 毎年9月30日
そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

単元株式数 100株
上場証券取引所 東京証券取引所 市場第一部
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
☎0120-782-031(平日 午前9時～午後5時)

(インターネットホームページURL) <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

公告掲載方法 電子公告(公告掲載URL <http://www.srt.co.jp/>)

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、左記の電話照会先にご連絡ください。

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用していなかった株主様には、株主名簿管理人である左記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といえます。)を開設いたしました。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、左記の電話照会先をお願いいたします。